

特別展「日本のたてももの—自然素材を活かす伝統の技と知恵」

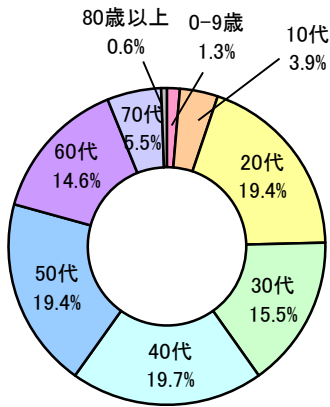
アンケート集計結果

開催期間：令和2年12月24日（木）～令和3年2月21日（日）（46日間）

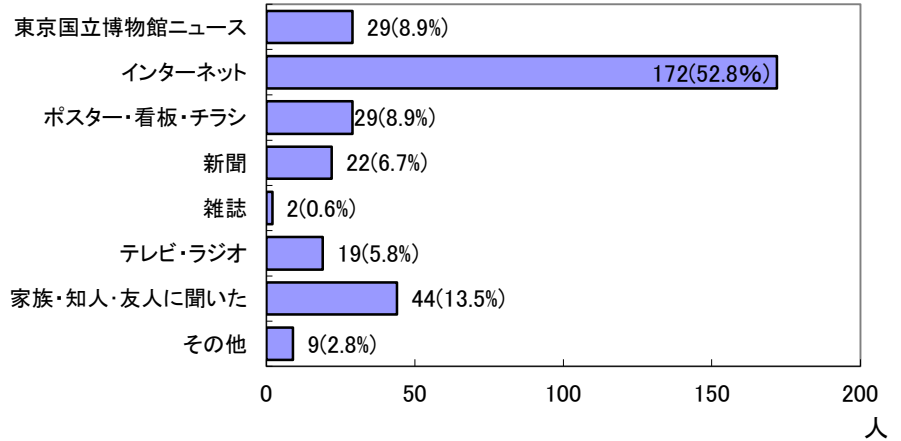
総入館者数：20,447人

回答者数：311人

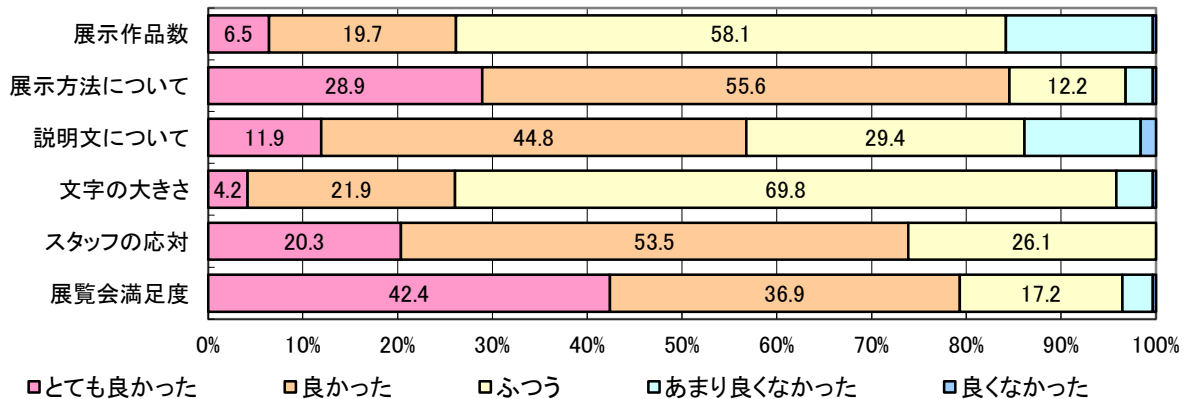
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・事前予約（日時指定）のため、密にならずゆっくり観覧することができた。
- ・通常みることのできない建物の構造や細部を模型を通して学ぶことができた。
- ・模型だけでなく、実物も見たくなった。
- ・大人だけでなく、小学生でも楽しめる展示だった。
- ・作品名にフリガナが欲しい。
- ・専門用語多かったので、解説がほしい。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	15.5	0.3
展示方法	2.9	0.3
説明文	12.3	1.6
文字サイズ	3.9	0.3
スタッフの対応	0.0	0.0
展覧会の満足度	3.2	0.3

(%)

本展は、「日本博」および「日本美を守り伝える『紡ぐプロジェクト』」の一環として、国立科学博物館、国立近現代建築資料館との3館合同で開催した展覧会で、日本の建築を、高い美意識と加工技術を際立たせて縮小表現した建築模型、図面、道具など貴重な資料の展示を通して、自然素材を活かした造形的な特徴を古代から現代まで見ることのできるものとなりました。当館では、1964年の東京オリンピックに併せて開催された「日本古美術展」出品模型や、文化庁が国宝・重要文化財建造物を修理する際に、形態、技法などを検討し、その技を伝承するために製作してきた模型を活用し、古代から近世までの日本建築の成り立ちについて紹介しました。本展会期中は緊急事態宣言の発令などもあり、夜間開館の開催を中止し、オンラインによる事前予約制（日時指定券）、館内消毒の徹底をはじめお客様のご協力もあり、無事に閉幕することができました。

本展覧会を観覧しアンケートに答えた79.3%の方から「とても良かった」「良かった」との好意的な意見をいただくことができました。普段見ることのできない建物の構造や細部を模型をとおして学べることに面白さを感じ、実際に実物を見たいというご意見をいただくことができました。その一方で、作品名へのフリガナや専門用語の解説が欲しいというご意見が寄せられました。

今度も来館者の皆様よりお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。